



高校生1日看護体験

看護局 副看護局長 姥神佐奈江

令和4年8月12日（金）青森県看護協会主催の高校生1日看護体験が行われました。新型コロナウイルス感染が増加している中、感染等を考慮し1日看護体験を午前中の半日に急遽変更して、26名の看護師志望の高校生の皆さんをお迎えしました。

参加者は、初めての白衣に身を包み、緊張しながらも嬉しそうに、病院内の見学の後、血圧測定や足浴、車いすやストレッチャー搬送など、お互いに患者の立場も経験しながら行いました。

体験終了後、「看護の楽しさ」「コミュニケーション能力が大切」など意見が聞かれ、ほぼ全員が「看護師になりたい」と手をあげていました。今回の経験が「看護の道」を志すきっかけになれたことを嬉しく思いました。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>



病院機能評価の認定を受けました

医療の質改善の取り組みの一環として、公益財団法人 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価（3rdG:Ver.2.0）を受審し、基準に達していることが認められ、2022年7月8日付で認定を受けました。当院は2006年の初認定から4回継続の認定となります。病院機能評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、4つの評価対象領域から構成される評価項目を用いて、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価するものです。

- 1 領域 「患者中心の医療の推進」
- 2 領域 「良質な医療の実践1」
- 3 領域 「良質な医療の実践2」
- 4 領域 「理念達成に向けた組織運営」

受審は、書面審査と訪問審査からなり、訪問審査日には機構の評価調査者（サーベイヤー）が2日間にわたり来院され審査を受けました。新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、当初受審予定の昨年10月から今年1月に延期しながらの対応となりました。これからも地域を支える中核病院としての役割を果たしていけるよう、さらなる改善に努めて参ります。



院長による病院概要説明



院内全部署を訪問し審査が行われた



部署責任者による説明



医療安全の視点からもチェックが入る



屋上から地下まで全施設を審査



審査後の講評会

